

令和6年度 瑞穂学園（本成寺中学校・西鯉田小学校・月岡小学校）グランドデザイン

令和6年度 三条市学校教育プラン 学校教育の目標

子ども自らが未来を拓くための生きる力（「確かな学力」「豊かな心・個性」「健やかな身体」）を育む

目指す子ども像

「ふるさと三条」を愛し、誇りに思う子ども

瑞穂学園が9年間を通して求める児童・生徒像

「自他を尊重し、夢や目標の実現に向かって努力する子ども」

- | | |
|-----|---|
| 知 育 | ・ 自ら学び、他と関わり合って追求する子ども
・ 基礎・基本を身に付け、活用する力を伸ばす子ども
・ 学習規律が確立している子ども |
| 徳 育 | ・ 自他を認め、思いやり、助け合い、高め合う子ども
・ あいさつのできる子ども |
| 体 育 | ・ 好ましい生活リズムを自らつくろうとする子ども
・ 健康・体力の向上に向けて努力する子ども |

令和6年度 三条市学校教育の重点

三条市の特色を生かし、地域とともにある学園・学校づくり

- I 三条市教育システムの深化
～小中一貫教育の更なる充実～
- II 多様性への理解促進と個に応じた支援等の充実

【知育】重点事項：「主体的・対話的で深い学びを実現する授業研修（第3年次）」

- ◆ 一人一実践授業公開を軸とした授業研修会（全職員）
 - ・ 三条市授業スタンダードに基づいた一人一実践を行い、全職員が公開授業を行います。
 - ・ 公開授業校による公開授業研修を行い、瑞穂学園全職員で授業に関する協議を行い授業力向上に努めます。
- ◆ ICTを有効的に活用した授業づくり
 - ・ タブレット等の学習用具を活用し、基礎基本の定着と家庭学習習慣の定着を図ります。また、タブレット等ICT機器の長所を生かし、個に対応した学びをサポートしていきます。
- ◆ 対話を通して学びを深める授業づくり
 - ・ 発達段階に応じた学習規律・対話スキルの指導を行い、どの発達段階においても、相手の気持ちを引き出そうとする態度の育成を共通して図ります。

【徳育】重点事項：「学級集団を主とした人間関係づくりの力の育成」

- ◆ WEBQU等を生かした学級集団づくり
 - ・ WEBQUと学校生活アンケートを活用し、一人一人を大切に学級経営をより一層充実させます。
- ◆ 児童会や生徒会等を生かした小中連携、交流活動の取組
 - ・ 今までの小中での取組を生かし、いじめ見逃しゼロ宣言を掲げ、よりよい人間関係を築けるように小中連携、交流活動を行っていきます。
- ◆ 一人一人を大切に心居場所づくり
 - ・ 「学園の人権教育、同和教育の年間指導計画」を基に実践を行います。
 - ・ 不登校対策として、9か年の視点から「場所、時間、活動、人との関係性」等、多様な児童生徒の心のよりどころとなる居場所を『ふやす』『つなぐ』取組を行います。
 - ・ 配慮の必要な児童生徒と家庭に必要な継続的な支援を行うために、各校生徒指導部が連携体制を整え、定期的に情報交換や研修を行います。

【体育】重点事項：「好ましい生活リズムを自らつくろうとする児童・生徒の育成」

小学生と中学生では家庭生活に違いがあり、学園共通項目で活動を進めることが難しいことから、小学校は睡眠調査、中学校は生活リズム調査を行う。

- ◆ 睡眠調査（就寝1時間前ブルーライトカット）…小学校
 - ・ 年2回の睡眠調査を通して、自然な目覚めにつながる「ベスト睡眠時間」を確保し、よりよい睡眠を実践していくようにします。
- ◆ 生活リズム調査（メディアコントロールなど）…中学校
 - ・ メディアコントロールなどを重点項目とした生活リズム調査を軸に、取組を進めていくことにする。
- ◆ 瑞穂学園学校保健委員会の取組
 - ・ よりよい睡眠を目指し、瑞穂学園学校保健委員会で児童生徒参加型の講演会を実施します。

自他を尊重
する子ども

【職員研修会】3校の職員研修会を行い、「確かな学力の育成」「豊かな心と社会性の育成」「健やかな心身の育成」に取り組みます。

- ◆ 教科研修の取組 学園教科研修部会において、乗り入れ授業と一人一実践授業を通して、職員の指導力向上に努めます。
- ◆ 領域部会の取組 知育・徳育・体育の3部会で、求める児童・生徒像について共通評価項目による計画、実践、評価、改善を行います。

「9年間を通して求める児童・生徒像」にどれだけ近付けたか、子どもたちの姿を小中一貫教育推進たより「土筆の穂っ」等で紹介します。

夢や目標の実現に
向かって努力する子ども

	基礎充実期				活用期			伸長期	
	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3
知 育	●学習規律の定着と基礎的・基本的な事項の習熟				●身に付けた力を活用し、自ら課題を見付け、解決する力の育成			●将来を見据え、身に付けた力をさらに伸ばし、学び続ける態度の育成	
徳 育	●自他の認め合いと規範意識の育成				●自ら考え判断し、行動する力の育成			●自分の良さを更に伸ばし、他や社会と積極的に関わろうとする態度の育成	
体 育	●基本的な生活習慣の定着と運動への意識の向上				●自分の課題を把握し、望ましい生活習慣や運動習慣への改善			●自分の課題を自覚し、より良い生活習慣や運動習慣の確立	

【キャリア教育】9年間を通して「課題対応能力・キャリアプランニング能力」「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」の育成に取り組みます。

- ①地域の人材や教育資源を活用する教育活動（知育部）
- ②児童・生徒間の絆を深める交流活動（徳育部）
- ③自己調整力を育成する教育活動（体育部）

小中一貫教育を推進する主な組織

- ☆ 瑞穂学園運営協議会（コミュニティ・スクール）【年間3回（5月、10月、2月）】
- ☆ 瑞穂学園校長連絡会議【月1回年間12回】
- ☆ 瑞穂学園小中一貫教育推進会議（学園運営委員会）【年間3回（4月、10月、2月）】
- 研究主任部会、生徒指導主事・生活指導主任部会、特別支援コーディネーター（Co）部会、養護教諭部会は月1回